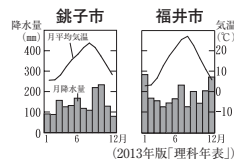


STEP 3 記述力をのばそう

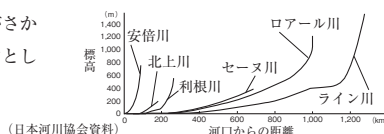
◆ 次の各問いに答えなさい。

- (1) 右のグラフは、ほぼ同緯度にある銚子市と福井市の、月降水量と月平均気温を表したグラフである。11月から2月までの降水量について、銚子市と福井市で、グラフのような大きな違いが見られるのはなぜか。その理由を、「季節風」の語句を用いて答えなさい。(新潟県)



- (2) 中国・四国地方について、高松市にため池が多いのはなぜか。その理由を、高松市の位置や年降水量を参考にして答えなさい。(佐賀県)

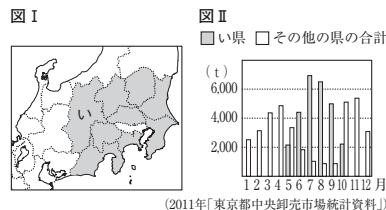
- (3) ヨーロッパでは、現在でも河川を利用した船舶輸送がさかんであるが、日本では衰退してしまった。衰退した理由として、右の資料からわかることを答えなさい。(群馬県)



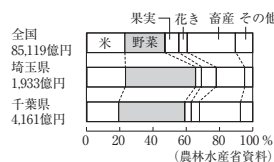
- (4) 高知平野では野菜などの促成栽培がさかんであり、時期を早めて市場に出荷している。出荷時期を早める理由を、「価格」の語句を用いて、「市場での供給量が」の書き出しに続けて答えなさい。(福島県)

市場での供給量が

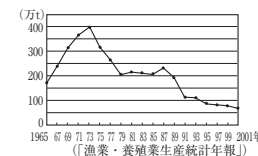
- (5) 図Ⅰ中の■は、東京の市場にレタスを出荷するおもな県を示している。図Ⅱは、これらの県を、い県とその他の県に分けて、レタスの出荷量をそれぞれ月ごとに表したものである。い県におけるレタスの生産の特色を、図Ⅱから読み取り、「高原」の語を用いて答えなさい。(山口県)



- (6) 右のグラフから、埼玉県や千葉県では、全国と比べて、農業生産額に占める野菜の割合が高いことがわかる。また、埼玉県や千葉県の、ほうれんそうや、ねぎなどの生産額は、全国でも有数である。埼玉県や千葉県で野菜の生産がさかんな理由を、大消費地との位置関係に関連づけて、答えなさい。(静岡県)



- (7) 焼津港は、日本有数の遠洋漁業の漁港である。日本の遠洋漁業は、さまざまな影響を受けて変化してきた。右の資料は、日本の遠洋漁業における漁獲高の変化を表したグラフである。漁獲高が1973年から1979年にかけて減少している理由を、「200海里」の語句を用いて答えなさい。(徳島県)



- (8) 次の□内の文章は、近年、漁業関係者により、川の上流部に植林をする取り組みが行われていることについて述べたものである。文章中の()にあてはまる文を、「栄養分」、「漁場」の語句を用いて答えなさい。(奈良県)

森林は、林業の場であるほか、土壌の流出や洪水を防いだり、海に()役割ももっている。わが国の水産資源の持続的な利用のためには、水産資源を育てる森林の大切さについて、今後とも考えることが必要である。

- (9) 右の表は、愛知県内3港のおもな輸出品をまとめたものである。これに関する次の考察中の()にあてはまる適切な文を、「重量」、「価格」の語句を用いて答えなさい。(長野県)

三河港		名古屋港		中部国際空港	
輸出品	%	輸出品	%	輸出品	%
自動車	94.2	自動車	27.3	半導体等電子部品	25.4
船舶類	1.0	自動車部品	14.9	電気回路等の機器	7.3
鉄鋼くず	0.7	原動機	5.5	電気計測機器	5.7
		金属加工機械	3.4	科学光学機器	4.7
合計 1兆6761億円		合計 8兆9398億円		合計 7403億円	

(「財務省貿易統計」)

中部国際空港からは、海上輸送とは異なり、半導体のような()製品が輸出されている。

- (10) 鉄鋼業は、鉄鉱石と石炭などを主な原料として鉄鋼を生産する産業であり、わが国の2011年の鉄鋼生産高は世界第2位である。右の資料Ⅰと資料Ⅱをもとに、わが国の主な鉄鋼工場の立地の特徴とその理由を答えなさい。(香川県)

資料Ⅰ
日本の鉄鉱石と石炭の自給率

	自給率(%)
鉄鉱石	0.0
石炭	0.7

(2013年版「日本国勢調査」)



わが国の主な鉄鋼工場は、

その理由は、原料の自給率が低いので、

からである。

- (11) 右の表は、東京など関東地方の5つの都県それぞれの昼間人口、夜間人口、事業所数、大学数を示している。これを見ると、東京だけ夜間人口に比べ昼間人口が多いことがわかる。その理由を、表をもとにして答えなさい。(北海道)

項目	昼間人口 (千人)	夜間人口 (千人)	事業所数 (千社)	大学数 (校)
都県				
東京	15,576	13,159	694	139
茨城	2,887	2,970	131	9
埼玉	6,373	6,216	268	29
千葉	5,560	6,216	208	28
神奈川	8,254	9,048	315	28

※ 昼間人口、夜間人口は2010年。事業所数のデータは2009年。大学数のデータは2011年。夜間人口は、その都県に居住している人口。(2013年版「県勢」)